

全ての意見

(1) 構想全体を支持する意見 (2件)

	意 見
1	添付されてた「参考資料 1」に尽きると思います。
2	基本構想の内容自体は、意識・目標の高い良いものだと思いますので、構想をいかに実現するか、十二分に検討して、実現してほしいと思います。

(2) 構想全体に対する意見 (4件)

	意 見
1	基本構想（案）を読んだだけでも、どこにでもあるような美大を何故設置するのか？
2	構想力が小さく、低い。もっと世界で一番になれるような人材を養成しようとししないのか。
3	青森には芸術家村があって、とても面白そうだよ、“何故、秋田？！”と周りの人達に言われつつ引っ越してきて、満4年になります。来てからは「どうして来たんですか？」とか、「いつまでですか？」と聞かれ続け、そんなにこの土地の人達は、魅力を感じないで暮らしているのか？と驚いたものですが・・・。 発展途上にある街で、その進化の様子を肌で感じながら暮らすのが大好きなので、来てはみたけれど、なかなか自分の活かしどころが見つけられず、 （変化を少々嫌い気味の組織の拘束性（？）があちこちで見られ）やっぱり戻ろうか？と思っていた矢先の大震災、“放射能の汚染”状況からみて、食や健康、安全面からも、秋田がここで発展＆住みやすさも含めて、全国にアピールすべき時ではないか・・・と思い、今しばらくとどまってみようか？と思い始めたところのこの構想・・・ 「2流とも言い難い様な芸術大」を何故財政厳しい秋田で4年制に？！と反対でしたが、どーせこの計画を進められるのなら、高齢者人口の多い秋田らしく、『お年寄りに優しく、子供に楽しく、癒しと創造の拠点』となる様に、老若男女が安心して“喜怒哀楽”を五感を通して表現し、分かち合える心身の“障害にもバリアフリーな”市民参加型のOpenカレッジにして欲しい。
4	秋田の職人が後継者不足で断絶しようとしています。これに対する構想が何も無い。

(3) 大学の名称に関する意見 (1件)

	意 見
1	以下の理由により、仮名称の「秋田公立美術大学」は不適切だと考えます。 「秋田公立美術大学」で構想している教育内容は、「都市デザイン」「商品計画」、情報系のデザインを含むため、（現代における）「美術」という言葉の範囲を超えている。現代においては、「美術」は、「視覚によってとらえることを目的として表現された造形芸術の総称」とされています。 「秋田公立美術大学」の名称の根拠として、『本来、「美術」という言葉が「工芸」を含む意味を持っているため - 』（基本構想（案）の7(1)）とありますが、これは明治時代の話であり、現代、および未来において通用する理論ではありません。 そのため、「秋田公立美術大学」という名前にした場合、それを聞いた人に、大学の内容を誤解される可能性が高い。事実私も、カリキュラムとの違いに違和感を覚えました。

(4) 基本理念に関する意見 (1件)

	意 見
1	グローバル人材の育成とあるが、言葉だけおどっている。具体的に実現不可である。グローバル人材の育成なら海外の大学に留学させるだけの大きさが必要である。

(5) 定員に関する意見 (1件)

	意 見
1	P 4 (2) 定員 多いのでは？

(6) 地元から多くの学生を入れるべきとする意見(2件)

	意 見
1	秋田県内の高校生をどの程度の割合で入学させるのでしょうか。 国際教養大のように他県の人が多く入学し、ほとんど秋田のために貢献しない大学など必要ないです。
2	秋田市の税金を使って4年制にするのだから、極力、秋田市民の入学卒を増やしてください。

(7) 社会人入試を求める意見(1件)

	意 見
1	都内の大学の様に、成人の男女も学びたい人にも受講生として門戸を開いたらどうかと思う。

(8) 地域色を強調すべきでないとする意見(2件)

	意 見
1	秋田という狭い範囲で大学を考えると永続せず、生徒の将来はない。
2	4年制の大学にするということは全国区の大学として学生の募集になると思う。一つの専攻課程にすぎない秋田の文化・芸術の探求や教育を、大学の設置意義や必要性で、公立大学だから、秋田のため、秋田市のためにという文面が強く違和感を感じる。 4年制のメリットは学生の質の向上と人材育成が主たるものだと思う。 全国から学生が集まってくる様な魅力あるカリキュラムを作り上げてほしいと思います。

(9) 地域の特色をいかした大学にすべきとする意見(4件)

	意 見
1	4年制の美術系大学を設置することには賛成です。2年間では専門知識を習得するには不十分と思われるからです。地方の大学はローカルな文化、特に秋田で培った伝統技術を学び地元の企業に就職できる人材を育成してもらいたい。
2	万難を排して、大学実現に取り組んで頂きたい。そして、ひと度実現したならば県民の支えて行くべき知的生産拠点でなければならない。 そこで2点、所見を申し述べてみたい。 これからますます変化していく歴史の潮流を見据えた時、是までの画一的な人間形成が求められていた時代から多様性のある人間形成が求められる。そのためには、地域に根ざし発展的に見据える知的能力を育む、学びの場が必要になってくることは必須であると思う。 将来を予兆した時、遅きに逸した感は否めないが、そのような観点から一人でも多くの未来を洞察し得る若い人間を輩出することが重要になってくる。現在の美短を核として、新たな場をこの秋田の地に作られたことは最優先課題としたい
3	新たな美術大学が実現した暁の構想であるが、西部地区には他に類を見ない学びの場、人間形成に相応しい環境にあることを十分認識しながら新大学を創造して貰いたい。私見は、「大森山の一面を美術大学の学びの家」として組み入れることで他に類のない斬新さを創造できるものと考え。
4	他美術大学には無い、秋田の特色が色濃く出せるような大学になってもらいたい。

(10) 一般的な教育を充実すべきとする意見(2件)

	意 見
1	4年制大学の設置については賛成します。2年短大資格では、専門的な技術の習得が難しいばかりでなく、即戦力を求める企業の要望に沿えないなど、就職にも影響があると思われる。ただ問題点は、専門の技術技能だけでは、県内に稼働する場があまりにも少なすぎる現状があります。 そこで提案したいのは一般教養を充実させるためのカリキュラムの設定が必要であるということである。門戸の狭い美術系の就職ができなくても一般教養をもって就職先を確保できれば、若者の秋田定住など秋田県にとっても大学設置のメリットが生まれて来るのではないかと思います。
2	美術を専攻した就職先は勿論ですが、一般的な企業への就職が可能な教育も望みます。

(11)教育内容・カリキュラムに関する意見(6件)

	意 見
1	美術と建築を融合した学科がない。秋田の町づくりにも役立つような人材を育成してほしい。市内の風景が貧困であることから、豊かな町づくりを考えられる人間を育ててほしい。
2	1点目として、秋田の未来のまちづくりを、大学がどのようにして実践的に描いていくつもりなのか、絵に描いた餅にならないためには、都市計画、建築、土木といったグランドデザインを描くための骨太の知識も必要。計画のカリキュラムで大丈夫なのだろうか。
3	指導する人材についてですが、県内の伝統工芸士にはすぐれた人材がいらないことから、専門分野の工芸士の方々から協力を得てより実践的なカリキュラムが必要と考える。
4	「しあわせ長寿文化の創造」を大学から・・・出来れば「総合芸術」として、音楽や演劇、映画やファッション、デザイン（建築・設計）の自由な表現から、プロフェッショナルコースまで、3～4年生は、実践&現場活動で「競争・協働」を体験し、創業or就職へ・・・
5	市民も様々な制作の練習に参加出来、パスポートや単位、「マスター資格」等取得できたら嬉しいのでは？ 自殺率No.1の秋田ならではの発信として、「表現Artセラピー」の実践&専門家育成も加えられてはいいかでしょう？
6	又、この大学から映画監督の様な創造性に富んだ人材が出現出来る様な学科の設立もお願いします。

(12)優れた教員を確保すべきという意見(2件)

	意 見
1	3点目として、期待に応えてくれる教員の質と量を確保して欲しい。そのため、今後、議会と費用対効果などという小さな議論をしてほしくない。大学の善し悪しは、教員の質と量。効果を上げるためには費用がかかるのはあたり前だと思う。そこを堂々と主張するべき。
2	美短卒業生の親としてお願いがあります。 一読して、よく出来た構想案と思いました。しかし、案の中には創作に励む学生の姿がうかんできません。構想を具現化する為に何が必要でしょうか。人・物・金の3条件をどう使ってゆくか。芸術の分野では核は人です。 表現方法は多種多彩でも、技術・実績・指導力に優れた教授を獲得しなければなりません。公募による人選は限界があります。過去の反省からも、あらゆる手段を使ってスカウトして下さい。最初が肝心です。就職、資格取得、公募展入賞等、成果の出せる大学となる様、期待いたします。

(13)社会貢献・地域貢献に関する意見(7件)

	意 見
1	秋田に大学が増える事は喜ばしい事と思います。ぜひ、地域の人達とも心やすく交流してくれたら(国際教養大学のように)と思います。たとえば、小・中生だけでなく、グループ活動にも講師のような形で、お祭りや伝統行事の絵を書いたり、年代をしばり、版画や染色等、指導していただけたらうれしいと思います。
2	社会が必要とする、より高い次元の大学教育は、短大では限界があり、4年制大学の必要性を感じます。基本構想は、あくまでも構想なので、抽象的な表現が多く、具体的にどうなっていくのか見えてこない。美術大学は個性的な大学なので、それだけで特色があるのですが、卒業した学生が、秋田で創造的な能力を発揮して活躍できる場がどれだけあるのか疑問に思っています。 美術大学が、地域で貢献する機会が多くあると思いますが、人材が県外流出ということになったら問題が残ります。4年制大学化で、秋田が変わり、県民に豊かさが感じられるところも設置の意義の中に記されてもよいのではないかと思います。
3	9 Pにありますように(エ)4は大変良い事と考えます。技術を身に付ける事就職にもつながればと考えます。
4	秋田市と当該大学(学生参加の)主導の年1回の文化行事を秋田市中心(アルヴェ、アゴラ、ミルヴェ、ぼぼろーど)での開催を規約に盛り込んで欲しい。
5	芸術性の追求とは又違いますが、幼児～高齢者(お話(LifeStory)を絵本にしてあげる等も事業になりそうですね)まで、Needsのある仕事だと思います。大学に高齢者も子どもも呼び込むことは、学生の才能開発、芸術家の心の育成にも良いと思います。(ぜひ市民参加型に)
6	大学の運営については、基本構想(案)の中にも書いてあるように、産学官連携による持続的な協力体制を構築していくことが大事だと思う。
7	2点目として、自ら街に飛び出しまちづくりを考え実践する、そんな気概をもった教員とそれに応える学生が、今の短大にどれだけいるのだろうか。新大学になると、そんな人材が突如として現れるのだろうか。現短大から、実践をして証明すべきだと思う。 それがなければ、まちづくりの中核としての役割を担うといっても、秋田市民の実感や共感はないだろう。短大教員は、今すぐ、街に出て自らの思いを形にして表現、アピールするべきではないだろうか。少なくともフォントの美短サテライトからは、それは感じない。

(14)就職先の確保が重要だとする意見(9件)

	意 見
1	卒業後の受け皿の少ない秋田では就職場所の確保がなされていない。あまりにも少ない職場の秋田である。
2	そこで、大学と地域とのつながりを強くし、才能ある人たちが地域に残りその才能や技術を生かした職業に就くということがとても大切になってきます。4年制大学が実現したら、ぜひ地域の雇用拡大を考えていただければと思います。子供をもつ母親として、子供の就職問題は切実なものがありますので・・・。
3	卒業後の就職先が確保されていれば良いと思う。他県、業界の注目の的となるような運営をしていければ良いと思う。
4	但し、卒業後の就職である。せっかく県内に留め置きたい親心もあるのだから、そこを考慮に入れて、教育に力を入れてもらいたい。今後、大学の発展を期待し、県内・外の若人が入学をする事を祈念して止まない。
5	基本構想に対しては、賛成ですが、卒業した後、県内で大学で学んだ事を生かせる働き口が今よりもっと少なく大変なのではないでしょうか?子供を4年間大学に通わせるのは、親からしてもお金の面で大変な事だと思います。それでも通わせるのは、明るい未来を考えての事だと思います。どうか大学4年間の後に明るい未来が見える様に進めてほしいと思います。
6	4年制には賛成ですが、卒業してからの就職などを整備しないと4年制の意味がないのでは。それよりは専攻課題を充実して物づくりがpayできるような体制が急務と考えます。
7	また、伝統技術者が講師を務め、社会全体で育てていくことが必要と思われる。地元企業への就職できる人材を育成し、地域社会も受け入れる体制が求められる。高齢化社会から脱却するには、若者が定住する秋田を作り、県外へ就職しなくても良い環境が必要です。
8	芸術系大学の卒業後を案ずる。 受け入れる社会の文化的需要が問われるから。(芸大卒の末路は?) 東北が、秋田が、芸術的職業、業種にこれまで以上に注目を!
9	新しいものばかりもてはやさず、伝統工芸などにスポットを当てる機会を増やして、若者たちがそのような業種につくことに、明確な誇りを持てるような環境作りを。大学運営するなら、その社会的背景のことまで配慮を。

(15)コスト面に関する意見(1件)

	意 見
1	平成23年1月12日付、当短期大学の4年制化に関する意見募集について、私は基本的に反対する旨の意見を述べています。その後市議会等で論戦が展開され、設置が決まったと理解しています。 しかしながら、この少子化が進む秋田市において、果たして応募があるのか心配になります。公立である以上税金で維持されます。 くれぐれも無駄のなきように祈ります。

(16)施設設備に関する意見(1件)

	意 見
1	自然豊かな大学として、広々とした自然空間が望ましい。それには、緑豊かな木々や花を見て心優しい思いやりのある生徒が望ましく、緑やベンチ、小公園の設置が望ましい。大学周辺に木々を植えてもらいたいし、それには生徒の和気ある姿が見える語らいの場や空間の美が大切である。 大学周辺に大きな庭があることによって、美しい野鳥のさえずりが大学の庭に伝って来る、美しい自然空間が大切である。 例え、予算が少なくともやる気があれば決してできないことはない。例え、バラックが予定上できれば、その他の部分をコンクリートでも映えることでしょう。

(17)まちづくりに対して要望する意見(3件)

	意 見
1	にぎわいの市にしたいと思います。例えば、外国語の習得をする集まり、他の大学との連携、国外の人との協力関係を強めていくと秋田市発展につながると考えます。
2	又、2頁イ まちづくりの中核としての存在 に書かれている事は、前々から考えていた事です、美短は今までやってこなかったんだという事にショックを受けました。 今までは街のどこを歩いても美術大学がある街だとは、全く感じられませんでした、4年制大学になったら是非、歩くだけでも楽しい、ワクワクするような、他に誇れる、美大がある事を前面に出した街づくりをしていって下さい。
3	大学がまちづくりの中核として役割を担うことは大いに賛同、期待する。 なぜなら大学が教員や学生のためだけに存在し、研究や人材を育成することを目的とするのであれば、今ある市内の大学と分野の違いこそあれ、差異はないから。そこに秋田市民の血税を注ぐことに意義は感じられず、市民や議会の賛同は得られず計画はうまく進まないだろう。 いい大学のために3つの懸案事項を指摘したい。

(18) 4大化そのものに賛成する意見(9件)

	意 見
1	北前船航路や雄物川水運の物流の拠点としてきた歴史のある秋田ですので、古代をいかした町を築く第一歩の芸術又文化最近の長引く不況続き、これらを考えると、一日も早く開学時期を可能に目指して頂きたい。
2	若い人たちが、ふるさと秋田で働くことができず県外へ流出しています。地元で就職し、秋田を活性化するには、若い年代の人口増加が必須です。4年制大学が増えるということは大学選択の幅も広がり、秋田に残るといふ人が多くなります。
3	2年制の大学教育を受け、卒業後、学んだ事を活用している人は数少ないので無いか。やはり2年制では専門的な教育は、充実していないのではないかと考えていた。私自身も、何も活用していない。美短は、せっかく素晴らしい立地条件と、校舎を持ちながら、内容をもう少し、充実すればいいと思っていた。
4	秋田市は少子化が進行中で美術大学は芸術、文化を生かし町づくりに期待できると考えますので実施してもらいたいと思います。
5	美短の4年制大学化には賛成です。 美短を卒業して独立した方、幾人が存じ上げていますが、それぞれ頑張っではいらっしゃるのですが、残念ながら完成度と感性がもう一歩かな？と思うところがあり、やはり、2年では短いかなと思っていました。
6	公立美術大学が4年制になる事は大学の選択肢が少ない秋田県にとっては賛成です。
7	4年制にして学生を集めて活性化した方が市に発展につながると思います。
8	秋田の場合、どうしても美術に対してあるいは文化が非常に。あえて言うなら、ピンボウだ。その職業は、議員だから手が付けられない。青森、岩手など他県の美術について非常に高い。 2年よりも4年制ですと、もっと深く美術に対する考え方など勉強出来ると思います。 秋田のために是非？の文化に対する教育が出来ますよう願っています。
9	四年制大学設置は賛成である。 秋田県内の「工芸職人」は高齢化してきている。一刻も早い、後継者の育成が必要と考える。 しかし、地元秋田には今まで職人を育てる場所もなかったが、今回の大学設置における役割は大きいと思う。

(19) 4大化そのものに反対する意見(6件)

	意 見
1	卒業後の仕事がどれだけ有り、どれだけの生徒が秋田に根をおろして生活できるか？これまでに状況データが見られず、まずはデータを県民に出してみたら・・・。4年制大学にしなければいけないという必要性がわからない。
2	美短の4年制に反対
3	市民の血税をつかってなんのメリットもなし
4	新屋に問題児ふえるだけ
5	そんなのは無断な出費の税金の出て行くのを増やすだけ、もっと別の事を考えよう
6	反対です。創造と教育は相反します。芸大を出ても、職人（古美術修復）になるしかありません。 美短で創造力をなくした生徒がいっぱいいます。4年制になれば、一番悪いでしょう。それより、弱者に保護をお願いします。平山郁夫は、芸大は出ていません。活躍している芸術家は、芸大を中退しています。

(20) 4大化に賛成・反対のどちらとも言えない意見(1件)

	意 見
1	それなりの大学を出ても恥もなく2階にひきこもっている人がいる中で美術、工芸等を身に付けるためには4年生だと1番良いと考えます。でも今の子供達は何もかも親にたより切りで自分から進んで物事をやろうとしない様に思います。せっかく親がお金をかけて勉強させても本人達自身が、しっかりとした目標を持たずしている子がいるのが事実です。私のイトコで銀線細工ですばらしい仕事をしています。 その様な人達がこれからの秋田市や日本をささえて行けます様に養成して行ってほしいものです。技術を身に付ける事は大事な事だと考えます。でも教育費の事も考えますと4年間もかからないとも。

(21)大学のPRに関する意見(1件)

	意 見
1	魅力有る大学、他県からどうしてもこの大学に入学したい試験等も他校に比べてレベルUPして競争率を高めるそれだけ将来的にも安心出来る学校で有る事を多方面からあらゆる情報スタッフ、メディアなど利用しての取り組み方を考えて実行しながら進めて行っただ方が良いと思います。 4年制の大学にしたいと言うのは私も賛成ですが、そのためには事前に考える構想、及び卒業後の大学としての就職の責任みたいな物をどう考えているのか、問題はたくさんあると思います。

(22)高等教育制度に関する意見(2件)

	意 見
1	現在、美短の生徒達が4年制を必要としているのかと云う事。又、市場における即戦力と云う事はつよいと思う。職人さんとうとおかしいかもしれないけど、芸術家のタマゴであって、美短に行って畑ちがいの仕事をする人もいないと思われませんが・・・。 4年制と決めないで、2年行って、まだ勉強したかったら更新すると云う様なやりかたではいかがかと・・・？又、仕事しながらも続けて指導を受けられる様な、窓口の広い学校もあってはいいのでは。2年制、4年制と決めずに・・・。専門知識を納得行く迄、勉強できる様にしてあげられないかと思います。
2	4年制の大学を出て又専門大学的には、だめでしょうか？

(23)高校教育に対する意見(1件)

	意 見
1	高校生は大学で学ぶカリキュラムを（在学中に）ほとんど学んでいないため、設置する前に現高校生に対する指導が大切なのではないかな。

(24)市の他の施策に関する意見(1件)

	意 見
1	現市長は全ての施設値上げごみの有料化等市民苦しんでいる退陣を早く！！